なるほど the デジタル

［第9回］ 暗号化通信について

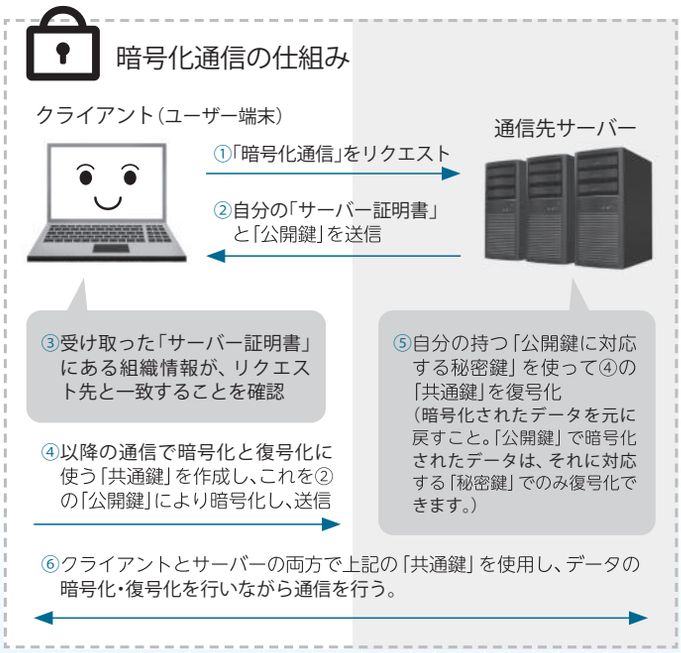
【問合せ】 秘書広報課デジタル化推進班 ☎74-8201

今回は、「暗号化通信」についてお話しします。

インターネットでの買い物や手続きを支えているのが「暗号化通信」です。住所・氏名などの個人情報や、決済に必要なクレジットカード番号などが第三者に盗み見されないようにする仕組みです。

実際に暗号化通信が適用されているサイトであるかどうかは、URLが「https」から始まっていることや、アドレスの入力欄に鍵マークが表示されていることで確認できます。以前は、個人情報などを扱う場合に限り暗号化通信を行っていました。現在ではサイト全体での暗号化通信が一般的となっており、暗号化されていないサイトの場合には「安全ではありません」のような警告が表示されるようになっています。

また、認証局と呼ばれる第三者機関が組織の実態などを調査の上、サーバー証明書を発行しているので、暗号化通信以外にも「なりすまし」でないということが証明されており、一層の安心にもつながっています。



昨年7月からスタートしたこのコーナーの本紙での掲載は、今回までとなります。
次回以降は市ホームページに掲載しますので、引き続きご愛読ください。